

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(可搬設備)

No.	指摘日	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
1	2021/6/11	VI-2-別添 3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p60	可搬型重大事故等対処設備の転倒評価等において、ランダム波に加えて、正弦波又はサインビート波による加振試験を行っている理由を説明すること。	それぞれの加振波は、対象となる設備の特徴や振動台の性能を踏まえて試験の都度決めており、加振波選定の考え方は以下のとおり。 ・正弦波は最大加速度が継続的に繰り返されるため、最も保守的な条件であり試験設定としても単純であるため、試験を繰り返しても損傷の可能性が低い小型の設備を小規模の振動台で加振する場合に適用している。 ・サインビート波は可搬型モニタリングポスト等の試験の繰り返しによる蓄積疲労で損傷することが懸念される設備に対して、正弦波ではなくサインビート波を適用している。 ・ランダム波は小型船舶のように固有周期の同定が難しい場合に幅広い周期帯の特性を確認するために適用している。 なお、ランダム波、正弦波及びサインビート波による加振試験はいずれの場合においても、設備設置場所を考慮して設定した目標の地震応答を上回る条件で試験を行っており、それぞれの試験結果の適用に問題はない。	「先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-別添3-1 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針)」(O2-工-B-01-0027) p85, 86	2021/6/25 回答済み	
2	2021/6/11	VI-2-別添 3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p22	考慮する荷重の組合せにおいて、積雪荷重については除雪にて対応することで無視できるとしているが、除雪に対する考え方を先行プラントと比較した上で、整理して説明すること。	積雪に対する設計における除雪の考え方について、先行プラントの考え方と比較して整理しました。	資料1-16 O2-他-F-01-0091 積雪に対する設計における除雪の考慮について	2021/9/24 回答済み	
3	2021/6/11	VI-2-別添 3-2	可搬型重大事故等対処設備の保管エリア等における入力地震動	p23	保管エリアの地震応答解析について、評価に用いた物性値等の条件の詳細を示した上で、最大加速度・変位・ひずみの分布を整理して説明すること。	①保管エリア等の地震応答解析に用いる地震動の算定に用いる地下構造モデルの条件を追加するとともに、第1, 第3, 第4保管エリア、緊急時対策建屋北側の地震応答解析による最大加速度・変位・ひずみの分布を追加した。 ②第2保管エリアの地震応答解析による最大加速度・変位・ひずみの分布を追加した。	①「補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料」(O2-補-E-19-0600-23_改2) p補2-31, 別紙3 ②「補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料」(O2-補-E-19-0600-23_改3) 別紙3-5~3-32	①2021/8/30 回答済み ②2021/9/24 回答済み	
4	2021/6/25	VI-2-別添 3-3	可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震計算書	p16,17	車両型設備の加振試験結果のうち、評価部位の最大応答加速度が加振台の最大加速度より小さくなっているものについて、その理由を説明すること。	加振試験時の床応答スペクトルにおける車両型設備の固有周期帯での応答値が、加振台の最大加速度を下回っていることが主要因と考えられる。	「補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料」(O2-補-E-19-0600-23_改3) p補p-3	2021/9/24 回答済み	

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(可搬設備)

No.	指摘日	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
5	2021/6/25	VI-2-別添 3-5	可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震計算書	p34	小型船舶のランダム波加振試験について、試験条件等の詳細を説明すること。	その他設備のうち、小型船舶の試験方法については、実際の設置状態を模擬した状態で加振台に設置し、ランダム波を入力地震動として、「水平(前後方向)+鉛直」及び「水平(左右方向)+鉛直」を加振方向として加振試験を行い、スリング等が有効に機能することで、加振試験後に転倒していないこと及び加振台の最大加速度を確認した。	「補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料」(O2-補-E-19-0600-23_改3) p補10-1, 10-3	2021/9/24 回答済み	
6	2021/6/25	補足-600- 23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補1-3 ~6	耐震計算書に記載していない設備について、保管時に地震により機能喪失しない理由を整理して説明すること。	重心位置が低く、構造的に転倒等による破損の恐れが無い可搬設備については、安定した保管場所に保管することで、地震の影響を受けづらい設計としている。保管状態を明確にするために表1-1に補足説明や図を追加した。	「補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料」(O2-補-E-19-0600-23_改3) p補1-3, 1-6	2021/9/24 回答済み	
7	2021/8/30	補足-600- 23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する補足説明資料	別紙3- 38~3- 70	淡水貯水槽について、設置状況や設備区分を整理のうえ、地震応答解析手法の妥当性について説明すること。	淡水貯水槽は地中構造物であり地盤の変形の影響を考慮する観点から、地震応答解析は二次元FEM地盤モデルによる周波数応答解析としており、補足説明資料にその詳細を示した。	「補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料」(O2-補-E-19-0600-23_改2)別紙3	2021/9/24 回答済み	
8	2021/9/24	補足-600- 23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙3	淡水貯水槽の健全性評価について、淡水貯水槽内の水のスロッシングによる荷重の考慮の考え方を説明すること。	基準地震動Ss時のスロッシングの検討を行い、波面が頂版に到達しないことから、健全性に対して影響がないことを確認した。	「補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料」(O2-補-E-19-0600-23_改2)別紙4	2021/10/25 回答済み	
9	2021/10/11	補足-600- 23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4	基本ケース及び入力地震動に影響を及ぼすケース(減衰定数及び表層地盤種別)について再度関係を整理し、影響検討結果のまとめ方を検討すること。また設計用FRSの長周期側のピークについても影響を記載すること。	淡水貯水槽の解析物性値について、基本ケース及び不確かさケースと影響検討ケースを整理し、影響検討ケースに地盤物性の不確かさを重畳しても、設計用FRSの長周期側のピークに影響のないことを確認した。	「補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料」(O2-補-E-19-0600-23_改2)別紙4	2021/10/25 回答済み	
10	2021/9/24	補足-600- 23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4	淡水貯水槽の解析物性値を変化させた場合の影響検討について、淡水貯水槽が新設であることを踏まえて、検討内容の妥当性を説明すること。	淡水貯水槽が新設であることを踏まえ、解析物性値について基本ケース及び不確かさケースと影響検討ケースを整理し、淡水貯水槽の健全性に影響がないことを確認した。	「補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料」(O2-補-E-19-0600-23_改2)別紙4	今回回答	

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(可搬設備)

No.	指摘日	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
11	2021/9/24	補足-600- 23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4	第2保管エリアにおける淡水貯水槽の材料物性の違いによる影響検討について、当該保管エリアにおける可搬型重大事故等対処設備の評価に適用する設計用地震力の算定方法を踏まえて、検討内容の妥当性を説明すること。	淡水貯水槽が新設であることを踏まえ、解析物性値について基本ケース及び不確かさケースと影響検討ケースを整理し、可搬型重大事故等対処設備の設計条件への影響がないことを確認した。	「補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料」(O2-補-E-19-0600-23_改2)別紙4	今回回答	

女川2号工認 記載適正化箇所(可搬設備)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
1	VI-1-1-6-別添2	可搬型重大事故等対処設備の設計方針	p2	屋外の可搬型重大事故等対処設備の固縛に係る設計方針について、記載を適正化しました。	2021/6/25	
2	VI-1-1-6-別添2	可搬型重大事故等対処設備の設計方針	p3	「d. 積雪及び火山の影響」の記載のうち「同時に必要な機能を損なうおそれがないよう」について、「必要な」の記載を削除しました。	2021/6/25	
3	VI-1-1-6-別添2	可搬型重大事故等対処設備の設計方針	p8	「4.1 要求機能」について、先行プラントの記載範囲を確認し、適正化しました。	2021/6/25	
4	VI-1-1-6-別添2	可搬型重大事故等対処設備の設計方針	p9	「(2) ポンプ設備」の記載のうち「必要な窒素又は空気」について、記載を適正化しました。	2021/6/25	
5	VI-1-1-6-別添2	可搬型重大事故等対処設備の設計方針	p9	「(2)ポンプ設備」の波及的影響に係る記載について、他の記載箇所と整合するよう、記載を適正化しました。	2021/6/25	
6	VI-1-1-6-別添2	可搬型重大事故等対処設備の設計方針	p11	「(3)その他設備_a. 構造強度」について、スリング等の固縛について記載しました。	2021/6/25	
7	VI-1-1-6-別添2	可搬型重大事故等対処設備の設計方針	p18	代表図の選定について適正化しました。	2021/6/25	
8	VI-1-1-6-別添2	可搬型重大事故等対処設備の設計方針	p20, p21	図6-2及び図6-3の図名称について、「ラック型」である旨を記載しました。	2021/6/25	
9	VI-1-1-6-別添2	可搬型重大事故等対処設備の設計方針	p20	図6-2について、ラックの躯体への取付方法を明記しました。	2021/6/25	
10	VI-1-1-6-別添2	可搬型重大事故等対処設備の設計方針	p23	「d. 波及的影響」における「保管場所における設置床の・・・」について、「保管場所における設置床又は地表面の・・・」に修正しました。	2021/6/25	
11	VI-1-1-6-別添2	可搬型重大事故等対処設備の設計方針	p25	蓄電池について名称を記載するとともに、取付金具等の用語について他の記載箇所と整合するよう記載を適正化しました。	2021/6/25	

女川2号工認 記載適正化箇所(可搬設備)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
12	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p18	代表図の選定について適正化しました。	2021/6/25	
13	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p19	図2-2について、ラックの躯体への取付方法を明記しました。	2021/6/25	
14	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p20	図2-3について、カードルの躯体への取付方法を明記しました。	2021/6/25	
15	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p21	図2-5、図2-7について各部名称について記載の整合を図るとともに、対象設備名称を明記しました。	2021/6/25	
16	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p2, 33	構造強度評価において評価対象頂部の水平方向加速及び鉛直方向加速度を適用していることを明記いたしました。	2021/6/25	
17	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p39～ p41	図4-2～図4-9について支持方法や図示内容について明記いたしました。	2021/6/25	
18	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p47	フロー図について記載を適正化いたしました。	2021/6/25	
19	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p48	解析方法の記載および解析コードの記載位置について適正化いたしました。	2021/6/25	
20	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p50	記号Awについてせん断力を受ける断面積であることを明記しました。	2021/6/25	
21	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p58	剛設備であることから、減衰定数に関する記載を削除いたしました。	2021/6/25	
22	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p59	評価基準の記載について適正化しました。	2021/6/25	
23	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p59	「(3)転倒評価」、「(4)機能維持評価」、「(5)波及的影響評価」における「保管場所における設置床の・・・」について、「保管場所における設置床又は地表面の・・・」に修正しました。	2021/6/25	

女川2号工認 記載適正化箇所(可搬設備)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
24	VI-2-別添3-2	可搬型重大事故等対処設備の保管エリア等における入力地震動	全般	緊急時対策建屋北側の設計情報を記載しました。	2021/8/30	
25	VI-2-別添3-2	可搬型重大事故等対処設備の保管エリア等における入力地震動	p3	地震応答解析のモデルについて、根拠となるボーリング等の調査位置を示し、地盤の支持性能で示している調査結果と紐づけしました。	2021/8/30	
26	VI-2-別添3-2	可搬型重大事故等対処設備の保管エリア等における入力地震動	p15	第2保管エリアの地震応答解析に用いる材料物性値について根拠となる基準を記載しました。	2021/8/30	
27	VI-2-別添3-2	可搬型重大事故等対処設備の保管エリア等における入力地震動	p18	第2保管エリアの地震応答解析について、建屋周辺のセメント改良土を盛土でモデル化することの保守性を追記しました。	2021/8/30	
28	VI-2-別添3-2	可搬型重大事故等対処設備の保管エリア等における入力地震動	p18	第2保管エリアの地震応答解析におけるモデル化、境界条件等の解析条件の詳細について補足説明資料に示しました。	2021/8/30	
29	VI-2-別添3-2	可搬型重大事故等対処設備の保管エリア等における入力地震動	p24	「3.5 地震応答解析における解析ケース」の物性のうちばらつきに係る記載について表現を適正化しました。	2021/8/30	
30	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補1-7	加振台ごとに加振した車両を整理して記載しました。	2021/8/30	
31	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補2-1 p補2-34	設計用FRSについて用語の定義付けを記載しました。	2021/8/30	
32	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補3-3	図3-2における波及的影響の記載内容を適正化しました。	2021/8/30	
33	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補3-4	「(1)概要」および「(2)地震荷重の算出」の記載について適正化しました。	2021/8/30	
34	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補3-5	風力係数に出典を追記しました。	2021/8/30	
35	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補3-6	「(4)地震荷重と風荷重の比較」の1次固有周期の記載について適正化しました。	2021/8/30	

女川2号工認 記載適正化箇所(可搬設備)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
36	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補3-13	図3-6のFRSに対して減衰定数を記載しました。	2021/8/30	
37	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補3-14	「b. 間接支持構造物」のコンテナ取付ボルト等の「等」の記載について、対象がコンテナ取付ボルトのみであることから、記載を適正化しました。	2021/8/30	
38	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補3-17~p補3-25	図3-7~図3-14の評価部位概略図について、評価部位が明確となるよう図面を適正化しました。	2021/8/30	
39	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補3-25	マルチリフト取付ボルト(上部/下部)について取付位置等が明確となるよう適正化しました。	2021/8/30	
40	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p別紙1-1~p別紙2-1	表題について、車両型設備の固有周期及び減衰定数の算出結果を示していることが明確になるよう記載を適正化しました。	2021/8/30	
41	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補9-2~補9-9	FRSの比較図において、当該部の固有周期と裕度が明確になるよう記載を適正化しました。	2021/8/30	
42	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補9-4,5	図9-3,4における電源車のY方向固有周期について記載を適正化しました。	2021/8/30	
43	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補3-30	表3-4の波及的影響評価結果における許容限界の注記について記載を適正化しました。	2021/8/30	
44	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補3-7	車両型設備の加振試験時の状況について記載しました。	2021/8/30	
45	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補3-8	加振試験条件について明確になるよう一覧表を追記しました。	2021/8/30	
46	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p19, 20	図2-2, 図2-3及び図2-4について、設備設置状況が明確となるよう適正化しました。	2021/9/24	
47	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p37	図4-4及び図4-5について、支持方法が明確となるよう適正化しました。	2021/9/24	

女川2号工認 記載適正化箇所(可搬設備)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
48	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p40	図4-81について、支持方法が明確となるよう適正化しました。	2021/9/24	
49	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p54,55	フレーム(シェル)の組合せ応力の評価式を適正化しました。	2021/9/24	
50	VI-2-別添3-1	VI-2-別添3-1 先行審査プラントの記載との比較表(可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針)	p89	加振波の差異理由について記載を追加しました。	2021/9/24	
51	VI-2-別添3-3	可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震計算書	p1	各車両の保管場所について、資料冒頭に表等で記載しました。	2021/9/24	
52	VI-2-別添3-3	可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震計算書	p52	加振試験により得られたすべり量について追記しました。	2021/9/24	
53	VI-2-別添3-4	可搬型重大事故等対処設備のうちポンベ設備の耐震計算書	p2	構造計画について他の耐震計算の記載と横並びを図り、適正化しました。	2021/9/24	
54	VI-2-別添3-4	可搬型重大事故等対処設備のうちポンベ設備の耐震計算書	p4,5,6	取付ボルトのうち後施工アンカについて、アンカの種類を記載しました。	2021/9/24	
55	VI-2-別添3-4	可搬型重大事故等対処設備のうちポンベ設備の耐震計算書	p40~46	応力等の算出にあたり使用する数値について記載しました。	2021/9/24	
56	VI-2-別添3-4	可搬型重大事故等対処設備のうちポンベ設備の耐震計算書	p32,33	断面係数や断面積について単位の乗数を適正化しました。	2021/9/24	
57	VI-2-別添3-5	可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震計算書	p5, 34	基礎ボルトの施工方法(ケミカルアンカ)である旨を追記するとともに、許容値についても修正しました。	2021/9/24	
58	VI-2-別添3-5	可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震計算書	p15	重心位置が高い架台を代表として構造強度評価することを追記しました。	2021/9/24	
59	VI-2-別添3-5	可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震計算書	p23, 24	固有値解析における振動モード図を表4-6及び表4-7に追記しました。	2021/9/24	

女川2号工認 記載適正化箇所(可搬設備)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
60	VI-2-別添3-5	可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震計算書	p16, 34	「f」についてイタリック体に修正しました。	2021/9/24	
61	VI-2-別添3-6	可搬型重大事故等対処設備の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果	p4, p9, p11	4.1項(2)b.「(a)その他」の理由について加振試験結果に基づき機能維持評価を行い、健全性を確認しており、矩形構造であり、応答軸(強軸・弱軸)が明確であることを記載しました。	2021/9/24	
62	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する補足説明資料	p補2-5	保管エリア等における地盤の種別がわかる図を追加しました。	2021/9/24	
63	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する補足説明資料	別紙3-44	質点系モデル(水平・鉛直)における有効貯水の重量の考え方を記載しました。	2021/9/24	
64	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する補足説明資料	p補2-24~34 p別紙3-2~37	保管エリア等における地震応答解析モデルに各層毎のVs等の値を追加しました。 また、保管エリア等の最大加速度、最大変位、最大ひずみ分布図に代表位置における応答値を記載しました。	2021/9/24	
65	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する補足説明資料	p補2-37	解析ケースについて、材料物性が第1保管エリア及び第2保管エリアに対するものであることがわかるよう記載を適正化しました。	2021/9/24	
66	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する補足説明資料	別紙3-71~78	淡水貯水槽周辺地盤の埋戻土の解析モデルが実態と異なる点について、機器の設計条件に影響がないことを確認しました。	2021/9/24	
67	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p19	図2-3における固定ボルトの位置について図面を適正化しました。	2021/10/11	
68	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p45	最大変位量に関する記載について適正化しました。	2021/10/11	
69	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p48	「b. ポンベ設備の解析方法及び解析モデル」について、ポンベの機器重量を質点に付加している理由を記載しました。	2021/10/11	
70	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p49~57	各応力を示す記号を適正化しました。	2021/10/11	
71	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p51	図4-13のフレーム(シェル)の計算モデル例について、図面を適正化しました。	2021/10/11	

女川2号工認 記載適正化箇所(可搬設備)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
72	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p56	溶接部の評価に用いる溶接部の断面積について、計算式を記載しました。	2021/10/11	
73	VI-2-別添3-3	可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震計算書	p16,17	表3-1について、車両型設備の加振試験結果のうち、評価部位の最大応答加速度が加振台の最大加速度より小さくなっている理由を記載しました。	2021/10/11	
74	VI-2-別添3-3	可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震計算書	p49	設計用加速度等について基準地震動Ssに基づく旨を記載しました。	2021/10/11	
75	VI-2-別添3-4	可搬型重大事故等対処設備のうちポンベ設備の耐震計算書	p36~38	計算式のフォントを適正化しました。	2021/10/11	
76	VI-2-別添3-4	可搬型重大事故等対処設備のうちポンベ設備の耐震計算書	p40~43	表6-1~6-13について、「評価条件」を「数値」に修正しました。	2021/10/11	
77	VI-2-別添3-5	可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震計算書	p7	「2.3評価方針」に、保管状態に応じた評価を実施していることが分かるように記載を追記しました。	2021/10/11	
78	VI-2-別添3-5	可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震計算書	p15	収納箱架台固縛対象設備について、どの架台に保管されるかをそれぞれ明記しました。	2021/10/11	
79	VI-2-別添3-5	可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震計算書	p31	表6-1機能維持確認項目について、「γ線サーベイメータ」の記載を適正化しました。	2021/10/11	
80	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補1-3, 補1-5	表1-1のスプレインズル及びシルトフェンスの「地震により機能喪失しない理由」について、他設備の記載に合わせて記載表現を見直した。	2021/10/11	
81	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補1-7~9	加振試験に使用した加振台の仕様を表1-2に追加しました。	2021/10/11	
82	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補2-38	設計用FRSの作成過程について明確化しました。	2021/10/11	
83	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補2-39	グラフの単位について適正化しました。	2021/10/11	

女川2号工認 記載適正化箇所(可搬設備)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
84	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補10-1	加振波振動数(33Hzまたは共振振動数)について、適用条件を記載しました。	2021/10/11	
85	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	p補10-1	「(2)減衰定数」に減衰定数0.5%の根拠を記載しました。	2021/10/11	
86	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙3-38	耐水貯水槽の地震応答解析についての図書構成を見直しました。	2021/10/11	
87	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙3-42	鉄筋コンクリート部位の減衰を5%としている理由の記載を適正化しました。	2021/10/11	
88	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙3-42	耐震壁の断面評価における土圧と水圧の考え方を整理しました。	2021/10/11	
89	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙3-45, 46	耐震壁の剛性評価範囲について、曲げとせん断で評価している範囲の記載を適正化しました。	2021/10/11	
90	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙3-51～54	解析モデル図の適正化、ならびにピン接合の設定についての説明を記載しました。	2021/10/11	
91	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙3-51～54	地震応答解析モデルで考慮した荷重についての説明を記載しました。	2021/10/11	
92	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙3-64	耐震壁の断面評価に軸力を考慮していることを明記しました。	2021/10/11	
93	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙3-64	断面評価に用いた分布荷重の記載を適正化しました。	2021/10/11	
94	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p51	図4-13について、面内力と曲げモーメントの記号と矢印の記載について適正化しました。	2021/10/25	
95	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p53	図4-16について、フレーム接続ボルトの記載及び正面図と平面図におけるボルトの中心位置のズレについて図を適正化しました。	2021/10/25	

女川2号工認 記載適正化箇所(可搬設備)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
96	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p18,19,20,21,51,52	図に記載している文字やの大きさ及びモーメントの向きなど資料全体で適正化しました。	2021/10/25	
97	VI-2-別添3-5	可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震計算書	p7	「2.3評価方針」について、記載を適正化しました。	2021/10/25	
98	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-1	資料タイトルを内容に即して見直しました。	2021/10/25	
99	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-3, 10, 43	断面図に水位を記載しました。	2021/10/25	
100	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-6	解析モデル中のピン接合に関する記載を適正化しました。	2021/10/25	
101	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-33	短期許容せん断力の算出について、他の資料と整合するように適正化しました。	2021/10/25	
102	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-55~58, 60	加速度応答スペクトルの線種を適正化しました。	2021/10/25	
103	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-61	水平加速度がNS及びEWの包絡値であることを記載しました。	2021/10/25	
104	VI-2-別添3-1	可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針	p51	図4-13において、座標の記載を適正化しました。	2021/11/2	
105	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-2	本文中にも水位を記載しました。	2021/11/2	
106	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-9	軸剛性の凡例を追記しました。	2021/11/2	
107	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-24	表1-5(2)の誤記を訂正しました。	2021/11/2	

女川2号工認 記載適正化箇所(可搬設備)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
108	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-27	文章中の誤記を訂正しました。	2021/11/2	
109	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-36	地震荷重の記載を適正化しました。	2021/11/2	
110	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-37,40	積雪荷重の考慮を適正化しました。	2021/11/2	
111	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-43	スロッシング評価に係る引用文献を記載しました。	2021/11/2	
112	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-45, 46	応答スペクトルの減衰定数を記載しました。	2021/11/2	
113	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-47	スロッシング評価結果について表2-19にも水面から頂版までの高さを記載しました。	2021/11/2	
114	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-47	スロッシング評価結果が頂版の健全性に問題がないことを記載しました。	2021/11/2	
115	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-49,60	基準地震動 S_s-D2 による検討の代表性と長周期成分への影響について記載しました。	2021/11/2	
116	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-55～58, 61, 62	加速度応答スペクトルの周期について補助目盛を記載しました。	2021/11/2	
117	補足-600-23	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	別紙4-59	検討ケースと検討に用いた地震動を表3-3に記載しました。	2021/11/2	